

広島県合同輸血療法委員会報告書
＜第3回 平成25年度＞

平成26年3月

広島県合同輸血療法委員会
広島県健康福祉局
広島県赤十字血液センター

有効で安全な輸血療法をめざして

言うまでもなく輸血療法は疾病に対する治療法の一つです。治療法の有効性と安全性を追求するため、輸血療法では血液製剤、医療機関のシステムとスタッフ、輸血後の効果と副作用チェックなどの継続的な努力が必要です。医療機関の規模によって差があっても良いとは言えません。

輸血用の血液はかつてないほど安全になりました。ヒューマンエラーを防ぐIT化も始まりました。しかし100%の安全性は無理な話です。今年度にはウィンドウ期の献血で作られた血漿製剤に微量に含まれていたHIVが、感染事故を発生させるという事態が発生しました。数年に1件程度は発生すると想定されていたものでした。

この事件は複数回の献血者を端緒とした遡及調査によって明らかになったもので、医療機関が発見したものではありませんでした。輸血療法のインフォームド・コンセントはどうだったのか、輸血前後の検査実施はどうだったのか、医療機関のシステムがうまく作動していたのかなど、非常に大きな教訓を私たちに残しました。

さて、広島県の合同輸血療法委員会は医療機関、医療関係団体、血液供給者そして行政が一緒になって県内の輸血療法の標準化を目指そうというものです。私たちの委員会では医療施設へのアンケート調査で定量的な評価を行い、手をあげて下さった医療機関への訪問相談で質的な評価を行って、県内の輸血医療の標準化を試みています。この報告書にはその一端が表現されていますのでご覧下さい。この事業は、厚生労働省平成25年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業による研究補助を受けました。本報告書の作成にあたって調査や執筆に当たっていただいた諸先生方、様々な事務を担ってくださった薬務課と血液センターのスタッフの皆さまにお礼を申し上げます。

2014年3月

広島県合同輸血療法委員会

高田 昇（広島文化学園大学教授）

目 次

第Ⅰ部 第3回広島県合同輸血療法委員会 (H25.7.27)	1
1 概要	
2 開催結果	
(前年度活動報告等) 平成24年度の活動報告(アンケート調査結果等)	
～平成25年度事業の検討	
(特別講演)「輸血用血液の安全性向上への変遷」	
(意見交換)各医療機関からの現状報告等	
第Ⅱ部 広島県合同輸血療法研修会 (H26.2.15)	51
1 概要	
2 開催結果	
第1部)「輸血療法に関するアンケート」調査結果報告等	
第2部)「訪問相談事業について」	
1「相談事業の概要」	
2 (1)「当院(広島市立安佐市民病院)における訪問相談後の改善点」	
(2)「当院(JA 広島総合病院)における輸血用法委員会の現状報告と輸血訪問相談報告」	
第3部)特別講演「全医療人で達成する良質な輸血医療」	
第Ⅲ部 今年度事業と次年度以降の課題	79
1 委員会事業の概要	
(1) 広島県合同輸血療法委員会の開催	
(2) 広島県合同輸血療法研修会の開催	
(3) 県内医療機関における輸血療法の推進に向けた相談応需	
(4) 幹事会の開催	
2 「輸血療法に関するアンケート」調査報告(詳報)	
【集計資料】	
○単純集計(◆)	
3 今後の課題	
<参考資料 これまでの取組み>	
参考1 平成20年度における「血液製剤使用適正化普及事業」の まとめと展望について!	202
参考2 広島県血液製剤使用に係る懇談会開催状況!	204
参考3 広島県輸血懇話会の開催状況!	205
参考4 広島県合同輸血療法委員会開催状況(H22～)	206